

平成27年度

事業計画書

自；2015年（平成27年）4月1日

至；2016年（平成28年）2月29日

公益財団法人

日本高等学校野球連盟

諸 野 球 大 会

1. 第87回選抜高等学校野球大会

平成27年3月21日(土)から12日間(準々決勝翌日の休養日1日含む)、阪神甲子園球場において開催する。出場校数は32校。組み合わせ抽選会は平成27年3月13日(金)に毎日新聞大阪本社オーバルホールで行う。

2. 第97回全国高等学校野球選手権大会

平成27年8月6日(木)から15日間(準々決勝翌日の休養日1日含む)、阪神甲子園球場において開催する。代表校数は49校(北海道は南北、東京は東西)。組み合わせ抽選会は平成27年8月3日(月)にフェスティバルホールで行う。

3. 第60回全国高等学校軟式野球選手権大会

平成27年8月22日(土)から5日間、兵庫県・明石トーカロ球場と高砂市野球場を併用して開催する。代表校数は16校。組み合わせ抽選会(代理抽選)は平成27年8月13日(木)に阪神甲子園球場で行う。

4. 第70回国民体育大会・高等学校野球競技会

和歌山県下で開催。高等学校野球競技は、例年通り大会の前半での開催となる。

▷硬式の部…平成27年9月27日(日)から4日間
紀三井寺公園野球場(和歌山市)

▷軟式の部…平成27年9月27日(日)から4日間
くろしおスタジアム(新宮市)
サン・ナンタンランド野球場(串本町)

5. 第46回明治神宮野球大会・高等学校の部

平成27年11月13日(金)から5日間(開会式は12日、高校の部は5日間、大学の部は6日間)。日本学生野球協会、明治神宮の共催で開催される。高校の部の出場校は例年通り10校で、秋季地区大会優勝校が出場する。

6. 春・秋季地区大会

	春季地区大会	秋季地区大会
(地区)	(開催地)	(開催地)
北海道	札幌	旭川
東北	福島	青森
関東	山梨	埼玉
東京	———	東京
北信越	長野	富山

東 海	静 岡	岐 阜
近 畿	滋 賀	滋 賀
中 国	岡 山	島 根
四 国	愛 媛	徳 島
九 州	佐 賀	鹿 児 島

国 際 大 会

1. 第27回WBSC U-18ワールドカップ（日本開催）

- ▷ 大会日程 平成27年8月28日(金)から9月6日(日)まで開催の予定
- ▷ 開催地 日本・大阪、兵庫
- ▷ 参加国・地域 米国、キューバ、カナダ、メキシコ、ブラジル、南アフリカ、
チャイニーズタイペイ、韓国、イタリア、チェコ、
オーストラリア、日本、以上12カ国・地域の予定
- ▷ 試合会場 阪神甲子園球場、舞洲ベースボールスタジアム、
南港中央野球場、豊中ローズ球場
- ▷ 高校日本代表 原則として、第87回選抜高等学校野球大会ならびに第97回全国
高校野球選手権大会出場選手から高校日本代表を編成する。
なお、両大会に出場していない選手を選考する場合もある。

会 議 ・ 会 合

1. 評議員会

評議員会は、平成27年6月12日(金)に開催の予定。

2. 理事会

年度内、次の通り開催の予定。

- 第1回 平成27年5月22日(金)
- 第2回 平成27年6月12日(金)
- 第3回 平成27年8月5日(水)
- 第4回 平成27年9月16日(水)
- 第5回 平成27年11月26日(木)
- 第6回 平成28年2月17日(水)

3. 業務運営委員会

業務運営委員会は、定例として毎月1回開催（12月は除く）

4. 各種委員会

会長の諮問に応じて総務委員会、審議委員会、軟式部委員会、審判規則委員会、技術・振興委員会、財務委員会、医科学委員会、特待生問題研究委員会、プロアマ健全化委員会、佐伯記念国際交流基金委員会、連盟70年史編修委員会などを随時開催し、懸案の諸事項を検討、審議する。また、選抜、選手権両大会運営委員会を開催し、全国大会運営の万全を図る。

5. 都道府県連盟会長、理事長会議

都道府県連盟会長会議は平成27年8月5日(水)に、同理事長会議は平成27年11月27日(金)にそれぞれ開催する予定。

6. 講習会（研修会）

(1) 新任理事長研修会

平成27年度に新しく都道府県連盟理事長に就任した理事長を対象に、平成27年5月25日(月)、26日(火)の2日間、中沢佐伯記念野球会館で研修会を開催。日本学生野球憲章をはじめ各種規定や通達の解説を行う。

(2) 全国、地区別審判講習会

全国審判講習会は今年で55回目を迎え、平成27年4月25日(土)、26日(日)の2日間で開催予定。場所は阪神甲子園球場と兵庫県立総合体育館で開催予定。

また、全国九地区で行われる審判講習会に講師を派遣し審判技術の向上を図る。

(3) 「高校野球 Umpire Coaching Clinic」

本年度で5回目の実施。都道府県連盟審判との連携強化、審判技術の向上と正しい指導方法の習得を目的に審判規則委員が講師となり、平成28年2月に2泊3日の研修日程で座学、実技を行う。対象者は前年度の選抜大会ならびに選手権大会に審判を派遣した都道府県連盟から推薦。

(4) 指導者研修会

本年度も加盟校指導者の研修会に都道府県高等学校野球連盟の要請により講師として適任者を人選の上、派遣する。

(5) 指導者育成プログラム「高校野球・甲子園塾」

高校野球のよき指導者となるために、教員資格を取得し現在教員として在籍10年未満の指導者を対象に、2泊3日の研修日程で2回開催[第1回；平成27年11月20日(金)～22日(日)、第2回；平成27年12月4日(金)～6日(日)。各回27名が参加(都道府県連盟から1～2名)。中沢佐伯記念野球会館(座学)と近府県の加盟校の協力を得て、グラウンドでの実技研

修を行う。

(6) プロ野球現役選手によるシンポジウム「夢の向こうに」

日本野球機構、日本プロ野球選手会の協力のもと、シンポジウム「夢の向こうに」を開催。今年度は次の1ヵ所を予定。

平成27年12月5日（土） 秋田県(大館市) 大館樹海ドーム

(7) 元プロ野球選手による技術指導講習会

日本野球機構、全国野球振興会（日本プロ野球OBクラブ）の協力を得て、各都道府県連盟の申請により開催する。

表 彰

1. 日本学生野球協会優秀選手表彰

学生野球の健全な発展のため、日本学生野球協会が定めた規定に基づき都道府県連盟から推薦を受けた最終学年の選手および部員を上申する。

2. 「育成功労賞」表彰

高校野球の野球部責任教師または監督で、育成と発展に功績のあった都道府県連盟から推薦を受けた候補者を審査の上、表彰する。本年度、阪神甲子園球場に招待し、表彰する都道府県は次の通り。

平成27年度(97回) 岩手、群馬、神奈川、長野、静岡、京都、山口、長崎

各 種 調 査

年度内に加盟校数、部員数、大会に関する事項として宿舍、寄付金などこれまで定例で調査した項目の他、野球留学の継続調査で第97回選手権地方大会に登録された選手の実態を把握し、今後の指導方法に活用する。

各 種 事 業

1. 不祥事件発生防止の重点目標

(1) 指導者の暴力（体罰）行為の根絶

平成25年度は78件（部内71、部外7）、平成26年度は現時点審議まで37件（部内36、部外1）が発生。少なくともはなっているものの、あいかわらず、指導者の暴力(体罰)が後を絶たない。

「暴力のない高校野球を目指して」（平成17年8月27日付通達）および

「指導者による体罰および野球部員による部内暴力いじめの根絶について」（平成25年2月6日付通達）を通じて、引き続き加盟各校へ指導者の暴力は決して許されない行為であることを訴えていく。

(2) 部員の暴力・いじめ行為の絶滅

平成25年度の部員の部内暴力・いじめ事件は218件。平成26年度は現時点審議まで151件が発生。指導者の暴力（体罰）と同じく、少なくはなっているものの、事件が多発している。

被害者の心の痛みを思いやれない行為は、フェアプレイの精神に反し、スポーツマンシップにもとる行為であり、大変残念なことである。

上記通達（平成25年2月6日付通達）を通じて、引き続き加盟各校へ訴えていくとともに、指導者の注意深い観察と併せて、今一度、高校野球の基本理念の一つであるフレンドシップの涵養につながる指導を促す。

(3) インターネットを利用した誹謗中傷、迷惑行為の防止

インターネットの発展が目覚ましい昨今であるが、利便性だけでなく、様々な犯罪も社会問題になっている。

高校野球を取り巻く環境も例におよばず、自らの違法行為をブログに掲載する、スマートフォンなどを使った誹謗中傷や卑猥、破廉恥な内容を掲載するといったものまで多岐にわたっている。

このような行為を防止するために、人権尊重とともに部員の自律、自制を促すとともに、ルールを守ることの大切さを引き続き指導していく。

2. 審判規則委員会・重点指導事項

審判規則委員会から指導事項として掲げた『白い線には意味がある』を本年度の重点指導事項として、徹底を図ることとした。

その他の事項

1. 刊行物

平成27年度は「高校野球審判の手引き」を発刊する（隔年発刊）。当連盟審判規則委員会で改訂版の編集作業を行う。

2. 高校野球100年記念メダル、選手権大会公式グッズの製作・販売

大正4（1915）年に全国高等学校野球選手権大会の前身である全国中等学校優勝野球大会が産声を上げてから、今年で100年を迎えるにあたって、高校野球100年記念メダルの製作、販売を行う。また、選手権大会公式グッズの製作、販売も行う。

以 上